

都市再生整備計画 事後評価シート
北地区

平成30年3月

長野県泰阜村

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県	市町村名	泰阜村	地区名	北地区			面積	1600ha		
交付期間	H24～H28	事後評価実施時期	平成30年3月	交付対象事業費	344.2	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名								
	基幹事業		道路・公園・地域生活基盤施設・公営住宅等整備								
	提案事業		地域創造支援事業・事業活用調査・まちづくり活動推進事業								
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業	基幹事業									
		提案事業									
新たに追加した事業	基幹事業										
	提案事業										
交付期間の変更	当初	H24～H28	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
	変更	H24～H29									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	地区内人口	人	818 H23	818 H28		756	▲	あり なし ●	地区内人口は目標達成とならなかったが、村総人口と比較すると十分効果が発揮された(H23年9月末総人口1,886人→H29年11月末総人口1,677人 減少率11.0% 地区内人口H23年9月末人口818人→平成29年11月末地区内人口756人 減少率7.5%)	
	指標2	観光交流人口	人	4,541 H23	5,800 H28		8,980	●	あり なし ●	目標を大きく上回ることができ、今後も村の観光拠点として交流人口の増加を図りたい	
	指標3								あり なし		
	指標4								あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1										
	その他の数値指標2										
その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況											
5)実施過程の評価			実施内容			実施状況			今後の対応方針等		
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加プロセス		泰阜村総合戦略効果検証委員会			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			○ 定期的に効果検証委員会を開催し、成果・今後の方針等を検討		
	持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					

様式2-2 地区の概要

北地区(長野県泰阜村) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標		目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値		
テーマ 「風水薫るときめきの郷やすおか」 目標1 「暮らしてみたくなる」「ずっと住み続けたい」ような生活環境を創出し、定住者の促進につながるまちづくり。 目標2 元気のある高齢者や農林業に携わる村民に講師になってもらい、知識、経験を次世代へ引き継ぐとともに、都市住民と農林業体験を通して交流がにつながる環境の整備	暮らしてみたくなる生活環境を創出することにより地区内人口を維持する	単位:人	818 H23	818 H28	756	H29	
	観光施設の整備により利用者数の増を図る	単位:人	4,541 H23	5,800 H28	8,980	H29	
		単位:	H	H		H	
		単位:	H	H		H	
		単位:	H	H		H	
まちの課題の変化	住環境の整備についてはある程度ハード面の整備は出来た、人口減少が緩やかになったが、ソフト面の充実が必要である					JR飯田線	
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	北地区都市再生整備計画で整備したハード面とソフト面とが相乗効果を生むような施策を、村だけでなく民間企業や村民の意見を取り入れながら実行可能かつ継続できるよう検討、実践						

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他(交付期間の変更)	●		H24～H28	H24～H29	事業繰越による

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業		当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
事業	事業箇所名	事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	村道187号線、村道188号線、村道189号線、村道191号線、村道86号線	190	村道の改良・新設	101	村道の改良・新設			●	
公園	あいパークやすおか	50	公園内の遊具等の整備・測量	48	公園内の遊具等の整備・測量			●	
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	平島田地区中心駐車場、情報版設置、非常電源発電設備	30	情報版設置	124	平島田地区中心駐車場整備、情報版設置	非常電源発電設備削除	他の補助金交付により、事業実施したため数値目標等への影響なし	●	
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備	三耕地住宅	80	公営住宅4棟建設	106	公営住宅5棟建設			●	
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)		目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無		
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	目標 年度	目標 年度	モニタリング	事後評価	モニタリング	事後評価	あり	なし	
指標1	地区内人口	人	住民基本台帳での地区内人口 を集計し、比較	830	H19	818	H23	818	H28	モニタリング		モニタリング			●
										事後評価	確定見込み ●	756	事後評価		
指標2	交流観光人口	人	年間のあいパークやすおか利 用者数を集計し、比較	2,100	H19	4,541	H23	5,800	H28	モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定見込み ●	8,980	事後評価		
指標3										モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価		
指標4										モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価		
指標5										モニタリング		モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価		

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	地区内人口は目標達成とならなかったが、村総人口と比較すると十分効果が発揮された(H23年9月末地区内 総人口1,886人→H29年11月末地区内総人口1,677人 減少率11.0% 地区内人口H23年9月末人口818人→ 平成29年11月末地区内人口756人 減少率7.5%)	
指標2	目標を大きく上回ることができ、今後も交流観光の拠点として交流人口の増加を図りたい	
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度			
その他の 数値指標1							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標2							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標3							モニタリング		
							事後評価		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
北地区都市再生整備計画及び総合戦略担当者打合せ	振興課・村づくり振興係	H30年2月	振興課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○	指標○	指標○	指標○				
指標名		交流観光人口							
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路・村道187号線(三耕地住宅線)	-	村の代表的な観光施設である「あいパークやすおか」の利用者数については、北地区都市再生整備計画策定時のほぼ倍になり、一定の効果があった。今後は移住・定住にまでつながるような交流に発展することを期待したい						
	道路・村道188号線(三耕地日向線)	-							
	道路・村道189号線(三耕地住宅団地線)	-							
	道路・村道191号線(金野住宅線)	-							
	道路・村道86号線(日孫線)	○							
	公園・あいパークやすおか整備事業	◎							
	地域生活基盤施設・平島田地区中心駐車場・情報版設置	○							
	公営住宅地等整備・三耕地住宅整備	-							
提案事業	地域創造支援事業・三耕地住宅地整備	-							
	地域創造支援事業・ECO森の体験場整備	-							
	地域創造支援事業・定住者促進事業	-							
	事業活用調査・農林業実習施設調査費	-							
	まちづくり活動推進事業・フラワーウォーキング	-							
	まちづくり活動推進事業・花と道路を守る会	-							
関連事業									

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用				
-------	--	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○		
指標名		地区内人口											
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路・村道187号線(三耕地住宅線)	△	地区内人口自体は目標達成とならなかったが、村全体の減少率と比較すると、減少率は緩やかであり、一定の成果はあった。	Ⅲ									
	道路・村道188号線(三耕地日向線)	△											
	道路・村道189号線(三耕地住宅団地線)	△											
	道路・村道191号線(金野住宅線)	△											
	道路・村道86号線(日孫線)	-											
	公園・あいパークやすおか整備事業	-											
	地域生活基盤施設・平島田地区中心駐車場・情報版設置	-											
	公営住宅地等整備・三耕地住宅整備	△											
提案事業	地域創造支援事業・三耕地住宅地整備	△											
	地域創造支援事業・ECO森の体験場整備	-											
	地域創造支援事業・定住者促進事業	△											
	事業活用調査・農林業実習施設調査費	-											
	まちづくり活動推進事業・フラワーウォーキング	-											
	まちづくり活動推進事業・花と道路を守る会	-											
		-											
関連事業													

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	<p>今後は、泰阜村総合戦略の方針に則り、村営住宅の建設・空き家の積極的な利活用を進めつつ、職・住セットでのPRを行い、人口減少率を更に緩やかにするよう実践する</p>		
------------------	--------------------------------------------------------------------------------------	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
北地区都市再生整備計画及び総合戦略担当者打合せ	振興課・村づくり振興係	平成30年2月	振興課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
急峻な地形が多い本村において宅地確保は難しい。定住者の促進を図るため、住環境を整備する必要がある	交付金等を活用し平成24年度から平成29年度までで村営住宅10棟を建設し、人口減少に対しある程度の効果を発揮	人口減少には歯止めはかかっていないが、緩やかになってきており、職をセットに更なる定住者促進を図る	定住者の地区への受け込みも出来ており、現在のところ問題なし
農林業は高齢化が進み、後継者や担い手が不足している。持っている経験や知識、技術などを後世代へと引き継ぐ環境の整備ができていない。都会との農林業体験交流システムを構築し、山村の農林業を守る必要がある	地域おこし協力隊等により、手作りこんにやくの技法が伝承されたケースもあり、少しずつではあるが後世代への引継ぎが始まった	まだ、始まったばかりであり、今後定着できるようソフト面での検討が必要である	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	村営住宅の建設	敷地造成を2区画分行った場所があり、そこへの住宅建設	村営住宅建設事業

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策			

フォローアップ又は次期計画等
 において実施する改善策
 を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項	
指標1	地区内人口	人	818	H23	818	H28	確定	○	756	△	あり	○	H30年2月	住民基本台帳による地区内人口	
							見込み				なし				
指標2	交流観光人口	人	4,541	H23	5,800	H28	確定	○	8,980	○	あり				
							見込み				なし				
指標3				H	H	確定				あり					
						見込み				なし					
指標4				H	H	確定				あり					
						見込み				なし					
指標5				H	H	確定				あり					
						見込み				なし					
その他の数値指標1				H	/	確定				あり					
						見込み				なし					
その他の数値指標2				H	/	確定				あり					
						見込み				なし					
その他の数値指標3				H	/	確定				あり					
						見込み				なし					



添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	泰阜村へのきっかけ作りとして「あいパークやすおか」は非常に効果的だった	
	うまく いかなかった点	過疎化については特効薬的なものの難しさを改めて痛感した	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	建設した村営住宅はすべて入居中であり、必要な投資だったと思われる	
	うまく いかなかった点	過疎化については特効薬的なものの難しさを改めて痛感した	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	「まち・ひと・しごと創生法」の施行に伴い、泰阜村総合戦略を策定し、各種団体からの選考された委員により総合的に住民の意向が検証出来た	
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	村ホームページへの掲載	平成30年2月	2週間	書面	振興課
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他	担当窓口にて閲覧	平成30年2月	2週間		

住民の意見	なし
-------	----

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	—	平成30年3月	振興課	村独自	北地区ときめきの郷研究会
その他の委員	地域交流センター悠々理事長 本田玖美子 泰阜村商工会青年部 宮下照明 青年団「やすおかじん」代表 宮島美祐 紀 地元村議会議員 丸本清 NPO法人「ジジ王国」代表 増田昇 地域おこし協力隊 小黒あかり 緑の協力隊 内海健人				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	地区内人口だけの評価ではなく、社会増減での評価も必要ではなかったか
	実施過程の評価	泰阜村総合戦略とリンクする部分も多くあり、「泰阜村総合戦略効果検証委員会」でも検討しており、今後の村づくりの指針となっている
	効果発現要因の整理	村道の整備など効果発現の要因として把握しづらい部分もあったのではないか
	事後評価原案の公表の妥当性	村HPによる公表など、手続きは妥当であると確認された
	その他	なし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続きは妥当であると認められた
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	泰阜村総合戦略に基づき今後も事業検証を行う
	フォローアップ	泰阜村総合戦略に基づき今後も事業検証を行う
	その他	なし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	泰阜村総合戦略は毎年検証を行う中で必要があれば適宜方針を変更
その他	なし	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
なし		

有識者の意見	
--------	--

都市再生整備計画(第5回変更)

北地区

長野県 泰阜村

平成28年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	長野県	市町村名	泰阜村	地区名	北地区	面積	1600 ha
計画期間	平成 24 年度	～	平成 28 年度	交付期間	平成 24 年度	～	平成 28 年度

目標 テーマ 「風水薫るときめきの郷やすおか」 目標1 「暮らしてみたい」「ずっと住み続けたい」ような生活環境を創出し、定住者の促進につながるまちづくり。 目標2 元気のある高齢者や農林業に携わる村民に講師になってもらい、知識、経験を次世代へ引き継ぐとともに、都市住民と農林業体験を通して交流がにつながる環境の整備。

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 泰阜村の人口は、現在では1900人程度で依然として減少傾向にあります。平成18年度には「風水薫るときめきの郷やすおか」をめざして総合計画を策定し、「暮らしてみたい泰阜村」と呼ばれるような、活力のある地域づくり・心豊かなライフスタイルづくりを行ってきました。 平成17年度から5か年でまちづくり交付金を活用し本村の南の玄関口「温田駅前地区」を実施し、一定の成果を上げることが出来ました。 北の玄関口である、金野地区、高町地区、唐笠地区、三耕地地区、平島地区、万場地区を中心に、まちづくりを実施したいという住民の声が多く聞かれるようになりました。その背景には、隣接する飯田市との間に県道1号線(主)飯田富山佐久間線があるが、平成25年4月に橋梁が完成し、2車線道路で県下4番目の拠点都市飯田市へ行き来することができるようになり、平成26年には三遠南信自動車道千代IC(仮称)が開通する予定で、泰阜村北地区から5分で千代ICまで行けるようになります。企業誘致、観光客の獲得、Uターン受け入れ等、北地区を中心としたまちづくりをしたいという機運が高まっています。近年、村内に働く場所が少なく村の若者の多くが飯田市で職を得ています。そのため、北地区での生活を望んでいる方が多くあります。山間部の急傾斜地に住居地の多くが存在する地域ですが、安心して住民が支え合い暮らせる住環境の整備が望まれています。そのため、良好な居住空間を創出し、ずっと住み続けたいような環境の整備により、定住者が増加し、地区の賑わいを取り戻されるような今後の地区のありかたや、地域づくりの機運が高まってきました。 また、本村特有の美しい段々畑や棚田が鳥獣被害により失われつつあります。イノシシ、鹿を捕獲し、これらの肉や皮革を無駄にすることなく処理し都市住民へも消費を呼びかけ都市と山村の共生を図ることで昔ながらの景観を守ることができないか、調査・研究をします。 地域においては、平成23年に「北地区ときめきの郷研究委員会」を発足して、暮らしやすい場所にするためには何が必要で、何ができるのかを模索し、当地区を元気ある場所にしようと日々努力しています。その委員会を補佐する役場庁内においても、各部門を横断したプロジェクトチームを設置し、北地区の活性化の実現に向けた検討を重ねています。また、県道1号線(主)飯田富山佐久間線沿いに多くの桜や紫陽花が植えられているが、植えられた方々は高齢になり手がつけられなくなっています。そこで、「花と道路を守る会」を立ち上げ、桜の枝伐り、紫陽花の手入れ、花壇の手入れ等を行い、来村する方々を気持ちよく迎え入れる環境を整備します。
課題 ・急峻な地形が多い本村において宅地確保は難しい。定住者の促進を図るため、住環境を整備する必要がある。 ・農林業は高齢化が進み、後継者や担い手が不足している。持っている経験や知識、技術などを後世代へと引き継ぐ環境の整備ができていない。都会との農林業体験交流システムを構築し、山村の農林業を守る必要がある。
将来ビジョン(中長期) 飯田都市圏への通勤圏として、新しい住宅需要に対応した宅地造成、住宅建設を促進し、さらに若者や都市からのU・J・ターン者のニーズに対応できる住宅・宅地整備を行うことによって人口増を図ります。さらに、経済的、時間的ゆとりを感じられるようになってきた近年、家庭菜園や庭付きセカンドハウスの建設や自然と施設とが調和のとれた公園整備を図るなど、余暇施設としての整備も進めていきます。 農業は、村の基幹産業です。農業の担い手の育成、土地基盤整備を促進します。また、環境保全資源、交流資源として活用し、都市住民との交流型農

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度		
地区内人口	人	住民基本台帳での地区内人口	暮らしてみたい生活環境を創出することにより地区内人口を維持する。	818	23年度	818 28年度	
交流観光人口	人	年間のあいパークやすおか利用者数	観光施設の整備により利用者数の増を図る。	4,541	23年度	5,800 28年度	

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・「暮らしてみたくなる」「ずっと住み続けたくなる」ような生活環境を創出し、定住者の促進につながるまちづくり。</p> <p>急峻な地形の当村で宅地を確保するのは難しい。そこで、住宅団地を造成、公営住宅の整備、アクセス道路の整備をすることにより、「暮らしてみたくなる」ような生活環境を創出する。</p> <p>あいパークやすおか、その周辺を整備することにより、子どもから大人まで楽しめる空間を創出することにより「ずっと住み続けたくなる」まちづくりを目指す。</p>	<p>(基幹事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園 あいパークやすおか整備事業 公園整備 村道187号線(三耕地住宅線) 村道188号線(三耕地日向線) 村道189号線(三耕地住宅団地線) 村道191号線(金野住宅線) 村道86号線(日孫線) ・地域生活基盤事業 平島田地区中心地駐車場 情報板設置 ・公営住宅等整備 三耕地住宅整備(5棟) (提案事業) ・地域創造支援事業 三耕地住宅地整備 定住者促進事業 ECO森の体験場整備
<p>・元気のある高齢者や農林業に携わる村民に講師になってもらい、知識、経験を次世代へ引き継ぐとともに、都市住民と農林業体験を通して交流が広がる環境の整備。</p> <p>中山間地である当村がいかに効率よく農業をすべきか、有害鳥獣によって農業を諦める人が多い。鹿。イノシシを捕獲しても処分困っている。これらの肉や皮革について活用できないか調査・研究をする。</p> <p>「花と道路を守る会」を立ち上げ、作業においては村内外からもボランティアを集い、村民との交流を図る。花の植栽等は高齢者に講師になってもらう。美しくなった道路を、村内外から募集しウォーキング大会を実施する。</p>	<p>(提案事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域創造支援事業 ECO森の体験場整備 ・事業活用調査 農林業実習施設調査費 ・まちづくり活動推進事業 フラワーウォーキング 花と道路を守る会
<p>その他</p> <p>【まちづくりの実現化に向けた住民意識】</p> <p>当地区においては平成23年に「北地区ときめきの郷研究委員会」を設立し、北地区のまちづくりについて検討している。今後も村と協働しながら賑わいのあるまちづくりを進めていく予定である。</p>	

